

# 木谷の風



コミュニティ・スクール推進員 福田 みき

## 地域の方から学んだこと

### 【ミニトマト植え 2年生 JAの皆さん 5月18日(木)】

2年生の児童が1時間目にJAの久保さんと山形さんが来てくださり、ミニトマトの植え方を教えてくださいました。とても大きなポットに一人一袋の土を入れました。たっぷりの水も含ませました。病気にならないように薬も入れていただきました。そして、ポットの中心にひとさし指を入れてぐるぐる回して苗を植える穴を各自でつくりました。優しく優しく植えました。周りにお山を作り、元気においしく育てと祈りながら…。



ちょうどこの日に一人一鉢運動の「メランポジュウム」を2株ずつ植えました。ミニトマトとは同じところや違うところがたくさんありました。植える前に「メランポジュウムやミニトマトが生長するのに大切なものは何ですか？」の質問に元気よく「土」と「栄養」と答えていました。「それ以外には？」すると、首をかしげた2年生の児童たち。植える

作業の説明をしながら、久保先生が「空気も大切です。」と説明されると思わず、こっくりとうなずく2年生でした。

このミニトマトがどのように生長するのか観察を続けていきます。職員室の前に置いていますので学校に来られた時は生長の様子をご覧ください。



## 【木谷の地質学習 5年生 尾首豊先生 5月19日(金)】

2校時にゲストティーチャーの尾首豊さんをお招きして、次のテーマでお話していただきました。

### 木谷周辺の地質・地層とその歴史

昨年度よりバージョンアップされたパワーポイントを作成してくださり、わかりやすくなるように、実物の火成岩をたくさん持って来てくださいました。

木谷の地域の現代はどうかといった内容を、自然として地層・地形・気候と分けながらお話を進めてくださいました。5年生の児童たちも遠い昔の出来事、約8000万年～9000万年前に繰り返された火山活動により形成された凝灰岩の地層と、それが風化した土により構成されているという特徴があること、そのガラス気質の部分が赤褐色の粘土質土壌になり、尾根付近など粘土化が進行した部分が煉瓦や瓦の原料として採掘されたり、ジャガイモ畑に適した土壌になったりしていることなどを真剣に聞いていました。



最後に、「ホボロ島に上陸したときに、鼻線島とホボロ島の違いをよく観察してください。」と語りかけられました。ますますホボロ島への興味がわいた瞬間でした。たくさんの準備をしていただき、ありがとうございました。